



10th
2012-2022

一般社団法人山形県国際経済振興機構
創立10周年記念誌



10th
2012-2022

一般社団法人山形県国際経済振興機構

創立10周年記念誌

目 次

ごあいさつ	1
祝辞	2
創立10周年によせて	4
一般社団法人山形県国際経済振興機構の概要	5
2011～2012(平成23～24)年度の主な取組み	6
2013(平成25)年度の主な取組み	8
2014(平成26)年度の主な取組み	10
2015(平成27)年度の主な取組み	12
2016(平成28)年度の主な取組み	14
2017(平成29)年度の主な取組み	16
2018(平成30)年度の主な取組み	18
2019(令和元)年度の主な取組み	20
2020(令和2)年度の主な取組み	22
2021(令和3)年度の主な取組み	24
2022(令和4)年度の主な取組み	26
歴代役員一覧	28



ごあいさつ

一般社団法人山形県国際経済振興機構

会 長 安 房 毅

一般社団法人山形県国際経済振興機構は、平成24年7月に山形県経済国際化推進協議会と山形県農林水産物・食品輸出促進協議会を統合再編して創立され、本年、10周年を迎えました。これまでの会員各位をはじめ、当機構に関わる皆様の御支援、御協力に心より感謝申し上げます。

当機構は、両協議会が培ってきた財産を受け継ぎ、よりきめ細かな支援体制を整えるとともに、日本貿易振興機構（ジェトロ）山形貿易情報センターや金融機関、JAグループなどの関係団体、県、市町村等とも連携しながら、海外ビジネス展開を支援する専門機関として、これまで、県産品の輸出や県内事業者の多様な海外展開を総合的に支援してまいりました。

現在、県では「第2次国際戦略」に基づき、地域の国際化、貿易振興、観光誘客の推進に総合的に取り組んでおり、また、政府においては「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略」を取りまとめ、マーケットインへの転換を図り、2030年までに農林水産物・食品の輸出額を5兆円とすることを目指しております。

当機構では、これらの戦略等を踏まえ、本県産業の国際化を更に推進していくため、「相談機能」、「情報提供」、「取引支援機能」、「販路開拓機能」、「助成事業」の5本柱により、県産品の輸出拡大、海外取引のサポートに取り組んでおります。

このような中、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、海外との往来が困難となるなど事業活動への影響もありましたが、オンライン商談会の開催等、ICTの効果的な活用や、海外パートナーの協力による販売プロモーションの実施など、当機構がこれまで築き上げてきた信頼関係を礎とした事業展開等により、コロナ禍においても当機構のサポートによる輸出実績額は年々伸びているところです。

今後とも、会員の皆様をはじめ、海外展開を目指す県内事業者のニーズを的確に捉え、その時々求められる事業を積極的に展開することにより、本県産業の国際化・活性化に貢献できるよう引き続き取り組んでまいりますので、一層の御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。



祝 辞

山形県知事 吉 村 美栄子

一般社団法人山形県国際経済振興機構が創立10周年を迎えられますことを心からお祝い申し上げます。

貴機構は、平成24年の設立以来、各関係機関・団体との連携を深めながら、県内企業の海外取引を支援し、本県経済の国際化に大きく貢献してこられました。

設立当時、我が国経済は、人口減少に伴う国内市場の縮小と相まって、デフレや消費低迷が続き、大変厳しい状況にありました。一方で、中国をはじめとする東アジアは高い経済成長を続けており、本県経済の発展のためには、こうした成長著しいマーケットに果敢に挑戦していくことが必要とされていました。このような状況の中で、本県と海外との経済交流の更なる促進の期待をもって貴機構が設立され、これまで、各種商談会、県産農産物の現地プロモーション、各国からのバイヤー招へい等の事業展開、中国ハルビン事務所を中心とした中国との経済交流の推進により、県内企業の海外取引の拡大・発展を牽引してこられました。その結果、県産品の輸出額は年々着実に増加し、本県の豊かな農産物や日本酒の多くが海外で高い評価を得るに至っております。貴機構の皆様の御尽力に深く敬意を表する次第であります。

一方、この10年間で国内外の社会経済情勢は大きく変化しています。国内の人口減少には歯止めがかからず、新型コロナウイルスの感染拡大は人やモノの交流のあり方を変化させ、経済への影響はまだまだ続いております。

こうした中で、県内産業の成長・発展のためには、輸出支援機関としての貴機構の役割はますます重要となっており、引き続き、関係機関・団体の皆様とともに海外販路開拓に向けた幅広いサポートを行い、本県の輸出力強化に御尽力くださいますようお願い申し上げます。

結びに、貴機構の今後益々の御発展と、会員の皆様の御健勝を祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。



祝 辞

山形市長 佐 藤 孝 弘

山形県国際経済振興機構の創立10周年を心からお祝い申し上げます。

貴機構におかれましては、創立以来、事業者の県産品輸出や海外へのビジネス展開を支援され、山形市はもとより、山形県内における地域産業の振興や地域社会の発展に多大なるご尽力を賜っておりますことに、深く感謝申し上げます。

現在、長引くコロナ禍に加え、世界情勢の厳しい変化に伴う急速な円安や物価高により、地域経済は依然として厳しい状況にあります。事業者の皆様による海外販路の開拓や拡大の取組が、地域経済の発展につながるものと考えております。

山形市といたしましても、国や県と連携しながら事業者支援に取り組んでまいりますので、貴機構におかれましては、海外との経済交流の促進に対し、より一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

このたびの創立10周年を機に、貴機構がさらなる飛躍を遂げられますとともに、会員の皆様方のますますのご活躍を祈念申し上げます。



創立10周年によせて

一般社団法人山形県国際経済振興機構
顧問(初代会長) 山 本 惣 一

創立10周年おめでとうございます。

一般社団法人山形県国際経済振興機構が創立されたのは、2011年3月に発生した東日本大震災の翌年でした。

当時を振り返りますと、国内市場の縮小と社会経済のグローバル化の急速な進展に伴い、国内外の市場環境は大きく変化し、本県においても世界経済との連動性の高まりなど、海外市場を見据えた対応が強く求められる中、本県産業の国際化に向けた支援体制や機能の強化が課題となっておりました。

本機構は、このような課題に対応していくため、これまで以上に産業界、関係団体、行政等が一丸となって貿易の振興、海外取引の拡大等に取り組んでいくことを目的として設立されました。

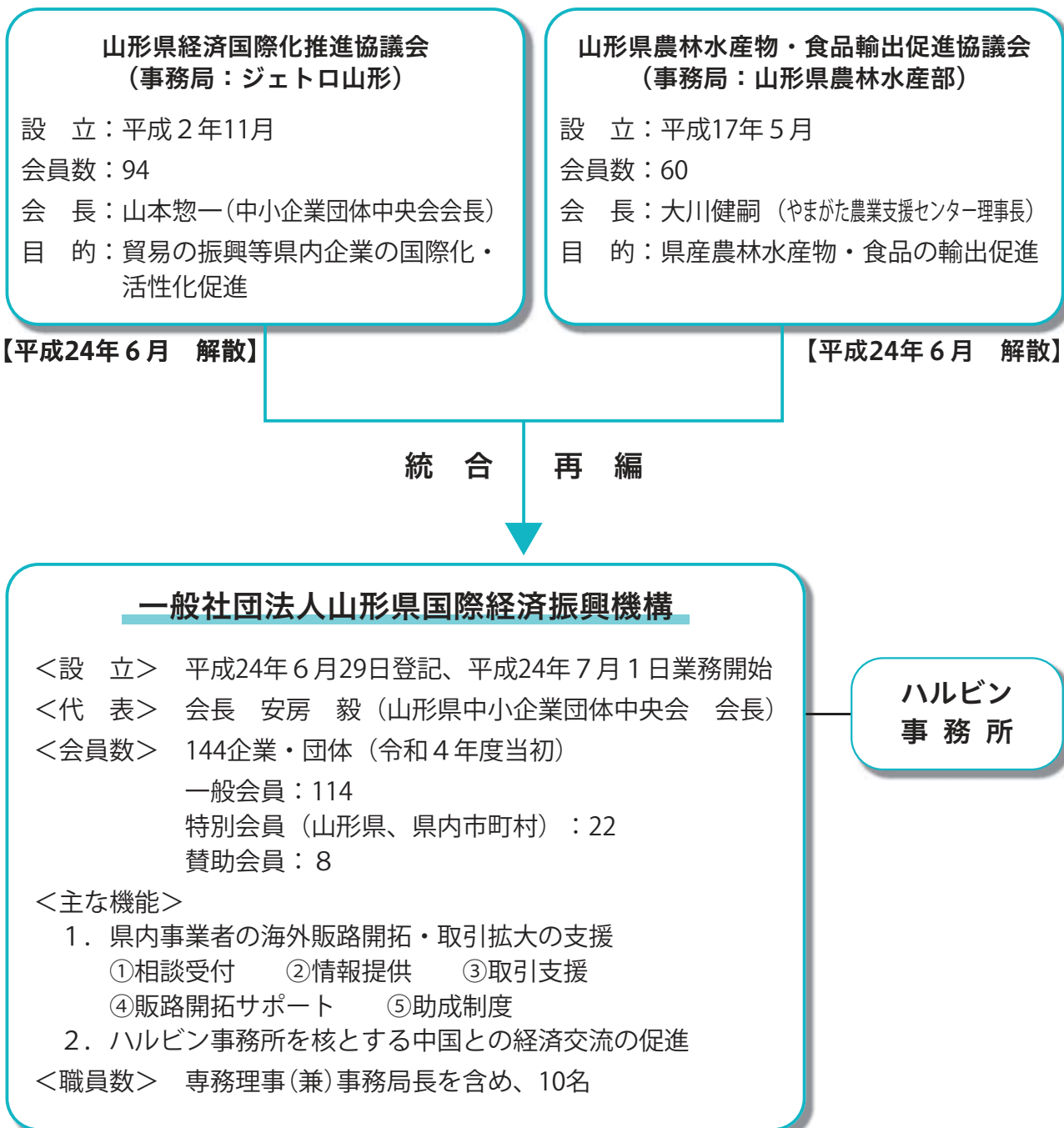
今後も、事業者の取組が将来の成果につながるよう、海外ビジネス展開を支援する専門機関として、また、身近に相談できる海外取引支援の結節点としてサポートいただくとともに、世界経済の動きを適確に捉えながら、本県経済の国際化と産業の一層の発展に貢献されていくことを期待しております。

一般社団法人山形県国際経済振興機構の概要

1 設立の背景

人口減少等に伴う国内市場の縮小や社会経済のグローバル化の拡大を踏まえ、海外とのビジネス展開を志向する県内企業等を支援する体制を構築し、中国などアジア諸国との経済交流を推進するために設立されました。

2 設立の経緯及び法人の概要



2011 2012

2011～2012 (平成23～24) 年度の主な取り組み

2011年度

10月 ▷▷ 山形県ハルビン事務所開所

日本の自治体として初めて中国黒龍江省ハルビン市に「山形県ハルビン事務所」を開所。10月25日に同事務所で開所式を開催。

また、同市内のホテルを会場に、山形県と黒龍江省の行政・経済関係者など約250名が出席し、開所記念祝賀会を開催。



山形県ハルビン事務所開所 (写真左:開所式 写真中:開所記念祝賀会 写真右:ハルビン事務所入居ビル)

2012年度

■設立準備

5月 ▷▷ 設立発起人会

山形県経済国際化推進協議会と山形県農林水産物・食品輸出促進協議会を統合再編した新法人を設立するにあたり、定款や事業計画などを審議。

6月 ▷▷ 設立総会

一般社団法人山形県国際経済振興機構の設立総会を6月5日に開催。会長に山形県経済国際化推進協議会長を務めた山形県中小企業団体中央会会長の山本惣一氏が就任。7月1日より業務開始。



設立発起人会



設立総会

■プロモーション・フェア

1月 ▷▷ 山形フェアin香港 (香港)

山形ブランドの定着に向け、香港の高級日本食レストランを会場に、芋煮等の鍋料理や板蕎麦、天ぷら、フルーツ、日本酒などを提供し、県産農産物の美味しさと安全性をPR。

■ 商談会・展示会・見本市等

6月 ▶▶ ハルビン国際経済貿易商談会（中国）

東方水上シルクロード貿易促進協議会とともに、県内からの出展事業者を支援。（17の企業・団体が出展）ハルビン事務所において、商談後のフォローアップを実施。

フード・タイペイ（台湾）

日本パビリオンに山形県として3ブースを設け、国際機構、観光物産協会、県内事業者2社が出展。日本パビリオン内の広報ブースにおいて、蕎麦の料理実演・試食提供や山形県のPRを実施。



ハルビン国際経済貿易商談会

9月 ▶▶ 山形県食品試食商談会（香港）

県とジェトロ山形が主催する日本食を扱う香港及び中国華南地域の輸入商社、スーパー、レストランなどのバイヤーを招待した試食商談会において、県内事業者を支援。県内事業者4社が参加。



フード・タイペイ

10月 ▶▶ ハバロフスク・ウラジオストクでの商談会（ロシア）

極東ロシアの政治経済の中心であるハバロフスク及びウラジオストクにおいて、県内事業者と現地輸入商社、スーパー、卸企業等との商談会を開催。県内事業者10社が参加。



山形県食品試食商談会

12月 ▶▶ 北京食品展示商談会（中国）

会 場 長富宮飯店
参 加 者 県内事業者8社
商談件数 63件



北京食品展示商談会

3月 ▶▶ 食品輸出相談会（カナダ・イタリア向け）

会 場 ホテルメトロポリタン山形
参 加 者 県内事業者11社

山形県の主な出来事

2011.3・東日本大震災

2012.3・日本海沿岸東北自動車道（あつみ温泉IC～鶴岡JCT）開通

7・山形新幹線「つばさ」開業20周年

9・舟形町西ノ前遺跡出土の土偶「縄文の女神」が国宝に指定

11・山形県ドクターヘリ運航開始

2013

2013 (平成25) 年度の主な取り組み

■プロモーション・フェア

11月 ▶▶ JAPAN東北フェア (シンガポール)

アセアンにおける新規マーケット開拓のきっかけづくりとして、現地百貨店で開催された「JAPAN東北フェア」に出展。試食を促しながら、餅、麺類、だだちゃ豆、ジュース等を紹介。国際機構及び県内事業者10社が参加。



JAPAN東北フェア

12月 ▶▶ ラ・フランスプロモーション (マレーシア)

クアラルンプール市内の6店舗でプロモーションを実施。うち4店舗では、生産者等が渡航し、試食販売を実施した。

1月 ▶▶ りんご (ふじ) プロモーション (台湾)

プロモーションは8年目となり、例年どおり売れ行きは好調。リピーターも多く、ブランドの定着、認知度向上に手応えも感じられるようになった。

「つや姫」販売プロモーション (台湾)

現地百貨店・スーパーにおいて「つや姫」及びつや姫を用いた菓子の試食販売を実施。「つや姫」は白米おにぎり、味噌焼きおにぎり、ちらし寿司を試食提供。



ラ・フランスプロモーション



りんご (ふじ) プロモーション

■商談会・展示会・見本市等

5月 ▶▶ タイフェックス2013 (タイ)

タイ国最大規模の国際食品見本市である「THAIFEX-World of food ASIA 2013」に出展。県内事業者4社が「日本パビリオン」において、県産牛肉や米菓等をPR。



タイフェックス2013

10月 ▶▶ ハバロフスク・ウラジオストクでの商談会 (ロシア)

会 場 ハバロフスク日本センター
ウラジオストク日本センター
参 加 者 県内事業者6社
商談件数 計17件



ハバロフスク・ウラジオストクでの商談会

11月 ▶▶ 香港美食商談会 (香港)

会 場 香港日本人倶楽部
参 加 者 県内事業者7社
商談件数 55件



香港美食商談会

12月 ▶▶ 山形県北京商談会 (中国)

会 場 長富宮飯店
参 加 者 県内事業者13社
商談件数 210件



山形県北京商談会

■ バイヤー招へい

1月 ▶▶ 自動車部品 (ロシア)

平成24年度にハバロフスク市で
開催した「山形県極東ロシア商
談会」のフォローとして、自動車
中古部品の商談を行ったバイ
ヤーを招へい。



自動車部品 (ロシア)

山形県的主要出来事

2013. 6 ・「山形日和。」観光キャンペーンの開催

7 ・断続的な雨が7月1日から18日まで続き、記録的な大雨となる。住民に避難指示等が出されたほか、建物被害や農業被害に加え、村山広域水道管内の一部では断水が発生するなど、県内各地が甚大な被害を受けた

8 ・日本大学山形高等学校野球部が第95回全国高等学校野球選手権記念大会で県勢初のベスト4

2014. 2 ・第69回国民体育大会スキー競技会「やまがた樹氷国体」開催

3 ・東北中央自動車道 (福島～米沢北) 栗子トンネル貫通

2014

2014 (平成26) 年度の主な取り組み

■プロモーション・フェア

8月 ▶▶ 庄内メロンプロモーション (マレーシア)

庄内産メロン (青肉・赤肉) の販売プロモーションをクアラルンプール市内の8店舗で実施。

9月 ▶▶ 山形県産食材フェアinバンコク (タイ)

バンコク市内のレストランにおいて、県産食材15品目 (牛肉、米、桃、里いも、トマト、だだちゃ豆、生そば 他) を使用した14のメニューと日本酒8種類を提供。



庄内メロンプロモーション



山形県産食材フェアinバンコク

11月 ▶▶ フルーツフルやまがたフェア (シンガポール)

日系百貨店において、本県の「食」と「観光」の魅力を一体的に発信する山形県単独の食品フェアを開催。

県内の9事業者・団体が参加。果物、米、菓子、揚げ物、麺類、味噌、ジュース、日本酒など約50品目を販売。吉村知事によるトップセールスを実施。



フルーツフルやまがたフェア

台南市交流マーケット開拓 (台湾)

J A全農山形と協力し、これまで商流のなかった台南市における販路の開拓・拡大を進めていくため、台南市政府と親交のあるバイヤーと連携した県産農産物販売プロモーションを実施。

1月 ▶▶ 「つや姫」販売プロモーション (台湾)

台北市及び高雄市の現地百貨店において「つや姫」や、つや姫を使用した菓子及び日本酒の試食・試飲販売、消費者アンケート調査を実施。

■商談会・展示会・見本市等

6月 ▶▶ フード・タイペイ (台湾)

会 場 台湾世界貿易センター

参 加 者 県内事業者5社

商談件数 133件



フード・タイペイ

7月 ▶▶ 山形県北京商談会 (中国)

会 場 長富宮飯店
参 加 者 県内事業者16社
商談件数 145件



山形県北京商談会

1月 ▶▶ 山形県タイ商談会 (タイ)

県、荘内銀行、タイのカシコン銀行の協力のもと、
バンコクにおいて「食」の商談会を開催。
相手方はバンコク市内を中心とする輸入商社、飲食店、卸売企業等12社。
県内から食品関連の10の企業・団体が参加。
商談品目は23品目。



山形県タイ商談会

■ バイヤー招へい**5月 ▶▶ 県産酒・食品 (タイ)**

タイでの県産食材フェア開催に先立ち、フェアで使用する山形県産品 (水産物、ワイン、ソーセージ、コンビーフ、牛肉など) を紹介。

6月 ▶▶ 県産酒・果物 (マレーシア)

マレーシアで実施予定の各種プロモーションの打合せを行うとともに、山形県産品 (ワイン、ラ・フランス、シャインマスカット、さくらんぼ、柿、桃、メロン、りんごなど) を紹介。



県産酒・果物 (マレーシア)

■ その他**9月 ▶▶ アセアンへの桃のテスト輸出**

タイ、マレーシアを対象に、国別に異なる品種、異なる輸送手段により輸出し、品質保持資材の効果確認とバイヤーからの求評を実施。

山形県的主要出来事

2014. 4 ・ 県立米沢栄養大学開学

5 ・ 東日本大震災の鎮魂と復興を願う「東北六魂祭」が山形市を会場に開催。被災県以外では初開催。2日間で26万人が来場

7 ・ 梅雨前線と台風8号の影響により県南部を中心に豪雨となり、9市町で住民に避難指示等が出されたほか、広い範囲で建物被害や農業被害が発生するなど、2年連続で記録的な大雨被害となる

10 ・ 皇太子殿下御臨席のもと「第38回全国育樹祭」を山形県遊学の森 (金山町) で開催

11 ・ 国道13号尾花沢新庄道路が全線開通

12 ・ モンテディオ山形がJ1復帰・天皇杯準優勝

2015

2015 (平成27) 年度の主な取組み

■プロモーション・フェア

8月 ▷▷ 桃プロモーション (ロシア)

ロシアの富裕層への県産青果物の販売拡大・定着を目指し、ハバロフスクにおいて桃のプロモーションを実施。



桃プロモーション

12月 ▷▷ 柿プロモーション (マレーシア)

クアラルンプール市内3店舗において柿の販売プロモーションを初開催。

柿は認知度・評価ともに高いフルーツであることから、非常に好調な売れ行きとなった。



柿プロモーション



「つや姫」販路開拓プロモーション

1月 ▷▷ 「つや姫」販路開拓プロモーション (台湾)

台北市、高雄市及び台南市の百貨店において、「つや姫」や、つや姫を使用した菓子及び日本酒の試食・試飲販売、消費者アンケート調査を実施。

■商談会・展示会・見本市等

6月 ▷▷ 北京国際茶業展 (中国)

北京市で開催される中国国内でも大規模な国際茶業展覧会に出展。中国国内のみならず海外からも多くのバイヤーが参加。中国輸出パートナーの協力のもと、県内事業者4社が参加。



北京国際茶業展

7月 ▶▶ 山形県北京商談会 (中国)

会 場 長富宮飯店
参 加 者 県内事業者17社
商談件数 114件



山形県北京商談会

11月 ▶▶ 山形県台湾商談会 (台湾)

県・山形銀行、中国信託商業銀行との共催で、台北市において食品・ものづくり・観光分野の事業者が参加する商談会を初開催。

県内事業者20社が参加。現地のバイヤーや旅行代理店に対し、自社の強みをアピールし、台湾市場の開拓を目指した。

会 場 アンバサダーホテル台北
参 加 者 県内事業者20社
商談件数 109件



山形県台湾商談会

■ バイヤー招へい**7月 ▶▶ 精肉研修 (香港)**

現地輸入・販売パートナーの担当者を招へいし、カット、精肉についての研修会を開催。



精肉研修 (香港)

山形県的主要出来事

2015. 5 ・蔵王山に火口周辺警報が発表され、観光客の減少等の風評被害が発生

6 ・天皇皇后両陛下が御来県。さくらんぼ生産農家や河北町の紅花資料館などを御訪問

10 ・国指定重要文化財である山形県郷土館「文翔館」が開館20周年

・モンテディオ山形が1年でJ2降格

2016. 1 ・県内の雪まつりのオープニングを飾る「やまがた雪フェスティバル」が最上川ふるさと総合公園（寒河江市）を会場に初開催

2016

2016 (平成28) 年度の主な取組み

■プロモーション・フェア

6月 ▶▶ 日本酒等プロモーション (シンガポール)

現地の日本酒バイヤーと共催で「SAKE FESTIVAL SINGAPORE 2016」に出展。

日本から酒蔵、食品メーカー等計48社が参加。県内からは2つの酒蔵から11銘柄を出展。また、新規提案用として加工食品事業者2社の計10商品の試食を実施した。



日本酒等プロモーション

7月 ▶▶ 山形ミニフェア (香港)

本県の主力輸出市場である香港の高級スーパーマーケットにおいて山形ミニフェアを開催。主なプロモーション品目は、牛肉、豚肉、米、麺、ゼリー、メロンなど。



山形ミニフェア

10月 ▶▶ 「つや姫」プロモーション (米国)

「つや姫」輸入バイヤーと連携し、在ホノルル日本国総領事館において「つや姫」をはじめ、芋煮等の試食や県産酒の試飲、山形铸件など県産工芸品の展示等を実施。

12月 ▶▶ ミラノにおける県産品PR (イタリア)

日本酒バイヤーと連携し、ミラノ市内に开店した日本食文化の発信ショップ&レストランバーにおいて県産酒や山形铸件などの県産品のPRを実施。

■商談会・展示会・見本市等

7月 ▶▶ 山形県北京商談会 (中国)

会 場 長富宮飯店
参 加 者 県内事業者12社
商談件数 85件



山形県北京商談会

- 11月 ▶▶ 山形県台湾商談会 (台湾)
会 場 シェラトンブランド
台北ホテル
参 加 者 県内事業者15社
商談件数 79件



山形県台湾商談会

■バイヤー招へい

- 7月 ▶▶ 果物・精肉 (台湾)
台湾市場でのラ・フランス、シャインマスカット、豚肉等の販路拡大に向け、台湾の輸出入パートナーを招へいし、県内企業との個別商談を実施。

- 1月 ▶▶ 工芸品 (シンガポール)
県、アセアン貿易コーディネーター、及びシンガポールの関係機関の協力を得て、シンガポールのデザイナーと県内事業者との共同による「シンガポールで売れる県産品づくり」を進めるため、シンガポールのデザイナーを山形に招き、県内の事業者との意見交換を実施。



果物・精肉 (台湾)



工芸品 (シンガポール)

■その他

- 9月
く
3月 ▶▶ アセアン・欧州における本県農産物等の求評調査・PR
シンガポール、マレーシア、ドイツ、オランダを対象国として、大手外食産業バイヤー等と連携し、現地レストランの顧客等を対象に試食・求評調査を実施。
【調査品目】シンガポール…りんご (ふじ)、ラ・フランス、シャインマスカット
ドイツ・オランダ…玉こんにゃく、そば、せんべい、りんご (ふじ)

山形県の主な出来事

- 2016. 4 ・ 県内初の併設型中高一貫校「東桜学館中学校・高等学校」が開校
 - ・ 文化庁が認定する「日本遺産」に本県で初めて「出羽三山～生まれかわりの旅～」のストーリーが認定
- 9 ・ 天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、「第36回全国豊かな海づくり大会～やまがた～」が庄内地域を会場に開催
- 12 ・ 「新庄まつりの山車行事」を含む「山・鉾・屋台行事」がユネスコの無形文化遺産に登録決定
- 2017. 2 ・ 水稻新品種「山形112号」の名称が「雪若丸」に決定

2017

2017 (平成29) 年度の主な取組み

■プロモーション・フェア

8月 ▶▶ 宮城・山形合同フェア (台湾)

台北市において、現地バイヤーが主催する高級スーパーでのフェアに山形、宮城の両県及び当機構が共催し、両県の農林水産物をはじめとする製品の試食販売プロモーションを実施。



宮城・山形合同フェア

11月 ▶▶ 「つや姫」プロモーション (米国)

輸入バイヤーと連携し、在ホノルル日本国総領事館及びホノルル市内の日本食レストランにおいて、「つや姫」をはじめ、山形牛や芋煮等の試食、県産酒の試飲、山形鑄物の展示などを実施。

山形牛・地酒プロモーション (タイ)

タイにおける県産牛肉、県産日本酒の定着と販売拡大を図るため、飲食店において、山形牛、県産日本酒のプロモーションを実施。



山形牛・地酒プロモーション

1月 ▶▶ りんご(ふじ)プロモーション(香港)

香港の高級スーパー2店舗において、りんご(ふじ)のプロモーションを実施。

3月 ▶▶ 上海山形食品フェア(中国)

上海の高級百貨店において、県産食品の定着と取引継続のため、県産食品プロモーションを初開催。



上海山形食品フェア

■商談会・展示会・見本市等

6月 ▶▶ ハルビン国際経済貿易商談会 (中国)

会場 ハルビン国際会議展示体育センター
参加者 県内事業者10社
商談件数 265件

7月 ▶▶ 山形県北京商談会 (中国)

会場 長富宮飯店
参加者 県内事業者11社
商談件数 64件



ハルビン国際経済貿易商談会

- 10月** ▶▶ **山形県台湾商談会 (台湾)**
会 場 シェラトングランド
台北ホテル
参 加 者 県内事業者19社
商談件数 112件



山形県台湾商談会

■バイヤー招へい

- 2月** ▶▶ **酒蔵体験ツアー (イタリア)**

イタリアの日本酒バイヤーを招き、県産酒の商談等を実施。あわせて、ソムリエや現地レストランの経営者11名が来県し、日本酒セミナーの受講や県内酒蔵での酒造りを体験。



酒蔵体験ツアー (イタリア)

■その他

- 9月** ▶▶ **県産農産物のフェア開催・求評調査 (シンガポール・ドイツ)**

バイヤーと連携し、現地日本食レストランを会場に、県産農産物を食材とした料理を提供するフェアを開催し本県の食文化の発信と県産農産物をPRするとともに、レストラン関係者及び消費者に対し求評調査を実施。



県産農産物フェア・求評調査

山形県的主要出来事

- 2017. 4 ・文化庁が認定する「日本遺産」に「北前船の寄港地・船主集落」、「サムライゆかりのシルク」の2件のストーリーが認定
- 7 ・皇太子殿下御臨席のもと「全国高等学校総合体育大会総合開会式」を山形県総合運動公園(天童市)で開催
- 8 ・外航クルーズ船が酒田港に初寄港
 - ・北朝鮮が弾道ミサイルを発射、Jアラートが作動
- 11 ・東北中央自動車道(福島大笹生IC～米沢北IC)開通
- 2018. 3 ・国道47号余目酒田道路(庄内町廻館～酒田市新堀)開通

2018

2018 (平成30) 年度の主な取り組み

■プロモーション・フェア

6月 ▶▶ 日本酒プロモーション (韓国)

現地バイヤーと連携し、ソウル、プサン、テグにおいて日本酒プロモーションを実施。県内7酒蔵が参加。

県産食品プロモーション (中国)

ハルビン市内の百貨店が主催する「世界食品博」の日本ブースに出展。麺、調味料、日本酒、米等の食品のほか、和傘、けん玉、ガラス酒器等の工芸品を販売。



日本酒プロモーション



県産食品プロモーション

9月 ▶▶ 「つや姫」等プロモーション (米国)

現地バイヤーと連携し、ホノルル市内の商業施設において、「つや姫」をはじめ、農産加工品や県産酒、芋煮等の郷土料理などのプロモーションと県産工芸品の展示PRを実施。

また、10月には、在ロサンゼルス日本国総領事公邸において、輸入業者、食品卸業者、小売店、レストラン関係者など約70名に対し、同様のプロモーションを行った。

10月 ▶▶ ロサンゼルス東北フェア (米国)

東北経済連合会の主催する「東北フェア」に参加。県内の5社の商品（米、麺類、加工食品、菓子、ジュース等）について、プロモーションを実施。

1月 ▶▶ 啓翁桜プロモーション (香港)

J A全農山形との共催により香港の小売店において、アジア諸国を中心に年々輸出が増加している啓翁桜の展示PRを実施。



ロサンゼルス東北フェア



啓翁桜プロモーション

■ 商談会・展示会・見本市等

6月 ▷▷ ハルビン国際経済貿易商談会 (中国)

会 場 ハルビン国際会議展示体育センター
参 加 者 県内事業者29社
商談件数 173件



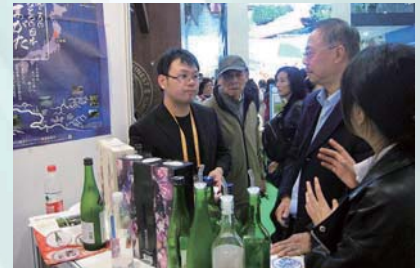
ハルビン国際経済貿易商談会

11月 ▷▷ 中国国際輸入博覧会 (中国)

上海で初開催となる「第1回中国国際輸入博覧会」において、ジャパンパビリオンへ出展する県内事業者2社を支援。

山形県台湾商談会

会 場 シェラトングランド台北ホテル
参 加 者 県内事業者15社
商談件数 60件



中国国際輸入博覧会

■ バイヤー招へい

6月 ▷▷ 果物 (マレーシア)

マレーシアへの県産品輸出パートナーを招へいし、産地訪問を行うとともに、クアラルンプール市内の高級スーパー等で開催する県産フルーツプロモーションの開催に向け、県内関係者との打合せを実施。



果物 (マレーシア)

■ その他

6月 ▷▷ アセアン・北米・香港におけるマーケット調査

県における県産農産物国別輸出アクションプラン (マレーシア、タイ、北米、香港) 策定のため、対象国の嗜好性や食文化、輸出関連プレイヤー、現地小売店・飲食店等のマーケット調査及び分析を実施。

山形県の主な出来事

- 2018. 4 ・東北中央自動車道 (大石田村山ⅠC～尾花沢ⅠC) 開通
 - ・県内で21か所目となる道の駅「米沢」が開業
- 5 ・世界最大規模のワインコンクールであるIWV2018「SAKE部門」審査会を開催。東北では初開催
 - ・文化庁が認定する「日本遺産」に「山寺と紅花」のストーリーが認定
- 7 ・国道47号新庄古口道路 (戸沢村津谷～古口) 開通
- 8 ・8月30日から9月1日にかけて、最上地方を中心に大雨となり最上小国川が氾濫。9市町村に避難指示・避難勧告が発令され、吊り橋の崩落や住宅の浸水などの被害が発生した
- 10 ・「雪若丸」デビュー。イメージキャラクターに俳優の田中圭さんを起用
- 11 ・皇太子殿下御臨席のもと「第21回全国農業担い手サミットinやまがた」を山形市で開催
- 2019. 3 ・東北中央自動車道 (東根ⅠC～東根北ⅠC) 開通

2019

2019 (令和元) 年度の主な取り組み

■プロモーション・フェア

7月 ▶▶ さくらんぼプロモーション (マレーシア)

さくらんぼ (紅秀峰) について、これまでのクアラルンプールに加え、新たにペナンでのプロモーションを実施。

8月 ▶▶ ロサンゼルス「山形フェア」(米国)

バイヤーと連携し、日系スーパーマーケットにおいて、「つや姫」をはじめ、山形牛、漬物、乾麺、ジュース、ゼリー、菓子類などのPR販売を実施。

11月 ▶▶ 県産食材プロモーション (米国)

ロサンゼルスの日系ホテルを会場に、日本食品輸入業者等に対し、「つや姫」をはじめ、山形牛、だだちゃ豆、漬物、そば、日本酒などのプロモーションを実施。あわせて、県産工芸品の展示PRを行った。



県産食材プロモーション

「つや姫」等PRイベント (米国)

ホノルル市内のショッピングプラザにおいて、現地輸入バイヤーと連携し、「つや姫」をはじめ、漬物、そば、ジュース、ゼリーなどの販売プロモーションと県産工芸品の展示PRを実施したほか、同会場内の居酒屋において日本酒をPRするセミナーを開催。



「つや姫」等PRイベント (写真左: 山形フェア 写真右: 日本酒PRセミナー)

2月 ▶▶ 「山形閣」での県産酒プロモーション (台湾)

平成30年に台湾にオープンしたホテル「山形閣」のレストランにおいて、県産酒の試飲提供及び、アンケートによる求評を実施。



「山形閣」での県産酒プロモーション

■商談会・展示会・見本市等

6月 ▶▶ ハルビン国際経済貿易商談会（中国）

会 場 ハルビン国際会議展示体育センター
参 加 者 県内事業者17社
商談件数 117件



ハルビン国際経済貿易商談会

9月 ▶▶ 大連日本商品展覧会（中国）

「第11回大連日本商品展覧会」へ出展。県内事業者4社が参加。

10月 ▶▶ フードジャパン2019（シンガポール）

アセアン最大級の日本食品見本市である「Food Japan 2019」に山形県ブースを設置。県内事業者5社が参加。



フードジャパン2019

山形県台湾商談会（台湾）

会 場 ハワードプラザホテル台北
参 加 者 県内事業者11社
商談件数 60件

■その他

9月 ▶▶ 県産工芸品の展示・PR（シンガポール）

高級コンドミニウムを会場に開催された現地富裕層をターゲットとした高級家具・装飾品の展示販売プロジェクトに県内絨毯メーカーの製品出展を支援。



県産工芸品の展示・PR

山形県の主な出来事

- 2019. 4 ・ 山形市が中核市に移行
 - ・ 東北中央自動車道（南陽高島IC～山形上山IC）開通
- 5 ・ 令和へ御代替わり
- 6 ・ 山形県が開発した大玉さくらんぼ新品種の名称が「やまがた紅王」に決定
 - ・ 山形県沖を震源とする地震が発生。鶴岡市では県内で過去最大となる震度6弱を観測
- 10 ・ 消費税が10%に引上げ
 - ・ 大型観光キャンペーン「新潟県・庄内エリアデスティネーションキャンペーン」が10月1日開幕。12月末までの3カ月間にわたり開催
 - ・ 台風19号の接近により県内26市町村に避難勧告・避難指示等が発令され、住宅被害201棟のほか高島町・川西町などで農地の浸水が発生するなど農林水産業にも大きな被害が発生した
- 2020. 3 ・ 県内で初めてとなる新型コロナウイルス感染症の感染者を米沢市で確認

2020

2020 (令和2) 年度の主な取組み

■プロモーション・フェア

8月 ▶▶ 第1回山形祭り (台湾)

宜蘭県のホテル「山形閣」において、第1回「山形祭り」が開催され、同県の林姿妙 県長、台湾山形県人会長など約200名が参加。知事メッセージの紹介、地元舞踊サークルの中学生による花笠踊りの披露のほか、県産米を使用したディナー、県産酒等が提供された。国際機構では、県産酒の手配、提供など県産品PRのための協力を行った。



第1回山形祭り

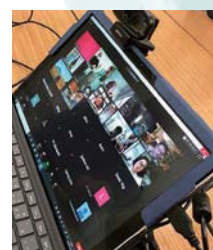
10月 ▶▶ 山形フェア (米国)

カリフォルニア州、ハワイ州において、輸出事業者と連携して、日系スーパーマーケットに販売ブースを設置し、「つや姫」をはじめ、水産加工品、漬物、乾麺、ジュース、ゼリー、菓子類など、12事業者の47アイテムのPR販売を実施。

11月 ▶▶ 日本酒オンラインワークショップ (シンガポール向け)

シンガポール向け輸出パートナーの招へいにあわせ、現地取引先飲食店など約30名を対象にオンラインセミナー、テイスティングを実施。

セミナーでは県工業技術センターから「酵母」をテーマに講演いただいた。



日本酒オンラインワークショップ

日本酒プロモーション (韓国)

プサンにおいて、現地パートナーが主催する業務店向け試飲会に出展。本県のほか、1道7県が参加。現地では、山形県戦略的情報発信員が県内7酒蔵の商品を紹介した。



日本酒プロモーション

■商談会・展示会・見本市等

6月 ▷▷ ハルビン商談会オンライン展示会（中国）

会 場 オンライン開催
参 加 者 県内事業者2社



オンライン展示会（画面イメージ）

■バイヤー招へい

11月 ▷▷ 花き（香港・シンガポール・ロシア等）

国内の輸出パートナーを招へいし、個別商談、現地販売の事前打合せのほか、圃場確認を実施。



花き（香港・シンガポール・ロシア等）

12月 ▷▷ 果物・精肉（香港）

現地バイヤーの日本法人を招へいし、香港向け果物の産地及び山形牛関係施設等を訪問するとともに、県内関係者との意見交換を実施。



果物・精肉（香港）

山形県の主な出来事

- 2020. 4 ・新型コロナ特措法による緊急事態宣言発令（政府）
- 5 ・やまぎん県民ホール（山形県総合文化芸術館）開館
- 7 ・7月27日から29日にかけて、山形県全域で記録的な大雨が発生（令和2年7月豪雨）。大石田町や河北町などの最上川9箇所が氾濫し、25市町村で避難指示や避難勧告が発令された
- 12 ・日本海沿岸東北自動車道（酒田みなとIC～遊佐比子IC）開通
- 2021. 2 ・山形大学医学部東日本重粒子センターで東北・北海道地区では初となる重粒子線による治療を開始
- 3 ・山形県・山形市が新型コロナウイルス感染症に係る「緊急事態宣言」を発出（3/22～4/11）。後日、寒河江市も対象地域に追加となる

2021

2021 (令和3) 年度の主な取り組み

■商談会・展示会・見本市等

6月 ▷▷ ハルビン国際経済貿易商談会 (中国)

新型コロナウイルス感染症の影響により、オンライン展示を主体とした形式で開催された。県内事業者21社の111アイテムを出展。

10月 ▷▷ 食品輸出オンライン商談会・食品フェア (台湾向け)

台湾でスーパーマーケットを経営する国内企業とのオンライン商談会を開催。県内の食品関連企業13社が参加。取引が成立した品目は、台中市のスーパーマーケットで開催した「山形食品フェア (令和4年2月開催)」で販売。



食品輸出オンライン商談会・食品フェア (写真左・中央: オンライン商談 写真右: 食品フェア)

11月 ▷▷ Food and Hospitality China 2021 (中国)

上海で開催された「Food and Hospitality China 2021」において、ジャパンパビリオンへの県内事業者2社の出展を支援。

3月 ▷▷ 山形県台湾商談会2022オンライン (台湾向け)

県内の食品及び工芸品・デザイン雑貨事業者の販路開拓支援を目的としたオンライン商談会を県、山形銀行等と連携し、山形県庁を会場に開催。マッチングが成立した県内事業者14社が台湾側バイヤー8社とオンライン商談を実施。



山形県台湾商談会2022オンライン

■バイヤー招へい

3月 ▷▷ 日本酒バイヤー・ソムリエのオンライン招へい (欧州)

県、山形県酒類卸株式会社と連携し、動画等を活用した酒造りの紹介や試飲等による県産酒のプロモーションを実施。イタリア、ドイツ、ルクセンブルクの3カ国から計約100名が参加。



日本酒バイヤー・ソムリエのオンライン招へい (欧州)

■ その他

10月 ▷▷ 臨時総会

臨時総会を山形市内で開催し、理事の変更議案を承認。総会後の理事会において折原敬一理事（山形県農業協同組合中央会 代表理事会長）を副会長に選任。



臨時総会



理事会

11月 ▷▷ インスタグラムの開設

海外向けに輸出商材やその産地、生産者、生産過程におけるストーリーなどの情報を広く発信し、県産品の魅力と認知度の向上及び輸出の拡大を図るため、インスタグラム(awesome_yamagata)を開設。



2月 ▷▷ 瀋陽天皇誕生日祝賀レセプション(中国)

ハルビン事務所において在瀋陽日本国総領事館主催の天皇誕生日祝賀レセプションに出展。「山形県ブース」を設置し、観光パンフレットの配布や工芸品、ペロリンぬいぐるみ、ミニのぼり等でPRを行ったほか、メイン会場で観光PR動画「STAY YAMAGATA(春編)」を放映。



瀋陽天皇誕生日祝賀レセプション

山形県の主な出来事

- 2021. 4 ・ 県内各地でサクラランボなどに凍霜害が発生。被害は30市町村に及び、農業被害額は記録が残る1963（昭和38）年以降で最悪となった
- 6 ・ 山形県内で東京2020オリンピック聖火リレーが開催され、10市町11区間で聖火がリレーされた
- ・ 米軍横田基地の輸送機オスプレイ 2 機が山形空港に緊急着陸
- 12 ・ 東北中央自動車道（村山本飯田 I C ～大石田村山 I C）開通
- 2022. 1 ・ 新型コロナウイルスオミクロン株による急激な感染拡大により、山形市や庄内地域などを対象に、山形県では初となるまん延防止等重点措置が適用された
- 2 ・ ロシアがウクライナに侵攻

2022

2022 (令和4) 年度の主な取り組み

■プロモーション・フェア

8月 ▷▷ 県産食材プロモーション (米国)

カリフォルニア州ロサンゼルスにおいて、米国日系レストラン協会の飲食店関係者等を招待し、「つや姫」や山形牛、日本酒のプレゼンテーションを行うとともに県産食材を使用した料理等を提供。



県産食材プロモーション

11月 ▷▷ 日本酒プロモーション (韓国)

現地バイヤーが主催するプサンで開催された業務店向けの試飲会に出展。県内からは3社が参加。各社のブースにおいて自社の日本酒、ワインのPRを行った。また、ソウル市及びプサン市内の飲食店を個別訪問し、商品の提案や料理との合わせ方などの説明を行った。



日本酒プロモーション

12月 ▷▷ りんご、ラ・フランスプロモーション (フィリピン)

マニラ市内の高級スーパーマーケット5店舗において、試食を提供しながらりんご (シナノゴールド、シナノスイート) 及びラ・フランスのPR販売を実施。

1月 ▷▷ 山形県物産展 (台湾)

県、山形銀行との共催により、台中市のスーパーマーケットにおいて「山形県物産展」を開催。8月に実施した商談会で商談が成立した「健康」「安心」にこだわった選りすぐりの食品をPR販売。



山形県物産展

■商談会・展示会・見本市等

8月 ▷▷ 食品輸出商談会 (台湾向け)

山形県庁を会場に台湾でスーパーマーケットを経営する国内企業と県内食品関係企業との商談会を開催。県内の食品関連企業13社が参加。



台湾向け食品輸出商談会

■バイヤー招へい

6月 ▶▶ 精肉、水産加工品、日本酒等（オーストラリア）

オーストラリアでの県産品販売拡大に向け、輸出パートナーを招へい。山形牛、水産加工品及び日本酒関係施設等への訪問を行うとともに、県内関係者との意見交換を実施。

■その他

4月 ▶▶ 県産工芸品・デザイン製品ポータルサイト運用開始

輸出に取り組む県内工芸品事業者及び商品情報を掲載したwebサイト「山形のいいものを世界へ！～やまがたの工芸品・生活製品ポータルサイト」を公開。海外バイヤー等への商品提案、展示会等におけるPRなどにも幅広く活用。



県産工芸品・デザイン製品ポータルサイト

6月 ▶▶ 定時総会・創立10周年記念講演会

令和4年度定時総会後に、ジェトロ海外調査部中国北アジア課長の中井邦尚氏を講師に「ウィズコロナ期の台湾・香港経済の行方について」と題して当機構創立10周年記念講演会を開催。



創立10周年記念講演会

11月 ▶▶ 日中国交正常化50周年祝賀レセプション（中国）

ハルビン事務所において北京大使館公邸で開催された日中国交正常化50周年祝賀レセプションに出展。観光パンフレットの配布や工芸品の展示、県産酒の試飲提供などを実施。



日中国交正常化50周年祝賀レセプション

山形県の主な出来事

- 2022. 6 ・ 山形県が開発したサクランボの大玉新品種「やまがた紅王」がプレデビュー
- 8 ・ 置賜地域を中心とした豪雨により、鉄道や道路の寸断、水稻や大豆等の浸水・冠水被害など、道路や河川、農林水産物に甚大な被害が発生。風水害被害では過去最悪の被害額となった
- 9 ・ スピードスケート男子で冬季五輪に4大会連続で出場し銅メダルを獲得するなど、国際舞台で活躍した加藤条治氏に山形県が県民栄誉賞を贈呈
- 10 ・ 東北中央自動車道（東根北IC～村山本飯田IC）が開通し、最上地方と首都圏が高速道路で直結

■歴代役員一覧（令和4年6月13日現在）

任 期	第1期 H24.6.29～H26.6.12	第2期 H26.6.12～H28.6.24	第3期 H28.6.24～H30.6.12	第4期 H30.6.12～R2.6.12	第5期 R2.6.12～R4.6.13	第6期 R4.6.13～
会 長	山 本 惣 一	山 本 惣 一	山 本 惣 一	安 房 毅	安 房 毅	安 房 毅
副 会 長	今 田 正 夫 (H24.9.3 辞任) 長 澤 豊 (H24.9.4 就任)	長 澤 豊	長 澤 豊	長 澤 豊	長 澤 豊 (R3.10.7 辞任) 折 原 敬 一 (R3.10.7 就任)	折 原 敬 一
専務理事					永 澤 浩 一 (R3.6.10 就任)	永 澤 浩 一
常務理事	武 蔵 毅	武 蔵 毅	松 田 國 幸	松 田 國 幸	松 田 國 幸 (R3.3.31 辞任)	
理 事	新 田 嘉 一 鈴 木 公 平	新 田 嘉 一 河 浦 義 和	新 田 嘉 一 河 浦 義 和	新 田 嘉 一 神 野 達 雄	新 田 嘉 一 神 野 達 雄 (R3.10.7 辞任) 阿 部 道 太 (R3.10.7 就任)	新 田 嘉 一 阿 部 道 太
	澤 田 敦	澤 田 敦 (H27.6.14 辞任) 酒 井 道 広 (H27.6.15 就任)	千 野 誠 司 (H29.6.23 辞任) 佐 藤 俊 幸 (H29.6.23 就任)	佐 藤 俊 幸	花 房 誠 治	花 房 誠 治
	長 沼 清 弘	長 沼 清 弘 (H27.6.14 辞任) 佐 藤 英 司 (H27.6.15 就任)	佐 藤 英 司	五百川 満	五百川 満 (R3.6.10 辞任) 後 藤 隆 之 (R3.6.10 就任)	後 藤 隆 之
	鈴 木 英 和	齋 藤 義 紀	落 合 規 幸 (H29.6.23 辞任) 長 谷 川 直 秀 (H29.6.23 就任)	長 谷 川 直 秀	長 谷 川 直 秀 (R3.6.10 辞任) 高 橋 幸 紀 (R3.6.10 就任)	高 橋 幸 紀
	鈴 木 俊 幸	鈴 木 俊 幸	鈴 木 俊 幸 (H29.6.23 辞任) 近 清 剛 (H29.6.23 就任)	近 清 剛	近 清 剛 (R3.10.7 辞任) 佐 藤 松 兵 衛 (R3.10.7 就任)	佐 藤 松 兵 衛
	齋 藤 一 志	齋 藤 一 志	齋 藤 一 志 (H29.6.23 辞任) 平 田 勝 越 (H29.6.23 就任)	平 田 勝 越	平 田 勝 越	平 田 勝 越
	小野木 覺 (H25.6.10 辞任) 佐 藤 和 志 (H25.6.11 就任)	松 田 一 彦	松 田 一 彦	松 田 一 彦	太 田 宏 明	太 田 宏 明
	富 田 博 渡 邊 修	富 田 博 渡 邊 修 (H27.6.14 辞任) 佐 藤 嘉 高 (H27.6.15 就任)	富 田 博 佐 藤 嘉 高	岩 田 雅 史 小 野 真 哉	岩 田 雅 史 小 野 真 哉	岩 田 雅 史 小 野 真 哉
	遠 藤 克 二 (H25.6.10 辞任) 森 谷 裕 一 (H25.6.11 就任)	森 谷 裕 一	森 谷 裕 一 (H29.6.23 辞任) 石 澤 義 久 (H29.6.23 就任)	石 澤 義 久 (R1.6.13 辞任) 平 山 雅 之 (R1.6.13 就任)	平 山 雅 之	平 山 雅 之
	深 澤 良 光 (H25.6.10 辞任) 長 谷 川 潔 美 (H25.6.11 就任)	大 澤 賢 史	大 澤 賢 史	武 田 啓 子 (R1.6.13 辞任) 木 村 和 浩 (R1.6.13 就任)	木 村 和 浩 (R3.6.10 辞任) 渡 辺 将 和 (R3.6.10 就任)	我 妻 悟
	菅 野 滋 (H25.6.10 辞任) 若 松 正 俊 (H25.6.11 就任)	若 松 正 俊	白 田 洋 一	駒 林 雅 彦	高 橋 雅 史	地 主 徹
	武 田 文 雄	遠 藤 秀 一	松 田 和 巳	山 口 範 夫	山 口 範 夫	高 橋 清 真
監 事	高 橋 幹 夫 (H25.6.10 辞任) 飛 川 宏 (H25.6.11 就任)	飛 川 宏	野 本 高 誉	野 本 高 誉 (R1.6.13 辞任) 藤 島 正 史 (R1.6.13 就任)	国 井 知 秀 (R3.6.10 辞任) 松 浦 等 (R3.6.10 就任)	松 浦 等
	石 井 康 一	石 井 康 一	石 井 康 一	石 井 康 一	石 井 康 一	軽 部 直 樹
顧 問	大 川 健 嗣	大 川 健 嗣	大 川 健 嗣	大 川 健 嗣 山 本 惣 一	山 本 惣 一	山 本 惣 一

あとがき

当機構は令和4年7月1日をもって創立10周年を迎え、記念事業として、この記念誌を発行する運びとなりました。

発行にあたり、吉村山形県知事、佐藤山形市長からお祝いの言葉を賜り、厚く御礼申し上げます。

これまでの10年の間、当機構は県内事業者の海外販路開拓と取引拡大に向け、県や市町村をはじめ、関係機関・団体等との連携・協力により様々な事業に取り組んでまいりました。

本記念誌では、これらの事業を年度ごとに「主な取組み」として掲載しております。誌面の都合上、掲載できる取組みは限られるため、新規事業や当機構の主催事業等を中心とした掲載となっておりますが、このような取組みの継続と積み重ねが現地パートナーとの信頼関係の強化や新たな販路構築などの成果に結びつき、県産品の輸出拡大に一定の役割を果たしてきたものと考えております。

現在、当機構では創立11年目となる令和4年度事業を展開しておりますが、少子高齢化による国内市場の縮小や新たな経済連携協定の発効等による社会経済のグローバル化の進展、ICTの進歩等に加え、新型コロナウイルス感染症の世界的感染拡大を契機とした生活様式の変化や新たな消費スタイルの普及、不安定な国際情勢や為替相場など、国内外の市場を取り巻く環境は一層大きく流動しています。

当機構では、このような流れを的確に捉えるとともに、産業界、関係団体、行政等と一層連携を図りながら当機構の役割を着実に果たしてまいりますので、引き続き御支援を賜りますようお願い申し上げます。

一般社団法人山形県国際経済振興機構

専務理事 永 澤 浩 一



*Yamagata
Export
Support*

一般社団法人 山形県国際経済振興機構